

6 学年 題材指導計画

いろいろな音の響きを味わおう（5 時間扱い）

1. 題材のねらい

音色や全体の響きを味わいながら表現を工夫することができるようにする。

弦楽器の音色や特徴を味わって聴くことができるようにする。

2. 教材について

(1) 星空はいつも（芙龍 明子 作詞，浦田 健次郎 作曲）

《学習指導要領 5・6 学年の内容との関連》A(1)ア, A(2)イ, A(3)イ, A(4)ア

A (a a') B (b a') の二部形式による構成の楽曲である。旋律は、やわらかく響きのある声を出しやすい音域でできている。歌詞の内容からも心情をとらえた表現を工夫し合うのに適した楽曲である。またリコーダーの副次的な旋律は、主旋律との響き合いを感じ取りやすい3度の和声でできている。歌声とリコーダー、伴奏とが一体となった響きを味わうことができる。児童がどの楽器が合唱と合うのか考え、音が重なり合う美しい響きになるよう学習を展開することができる。

(2) ラバース コンチェルト（デニー ランデル 作曲）

《学習指導要領 5・6 学年の内容との関連》A(1)ア, A(2)イ, A(3)イ, A(4)ア

旋律や響きの感じをとらえたり、音色を工夫したりして合奏を楽しむ活動ができる楽曲である。この教材には合奏を構成する主旋律、副次的な旋律、和音と低音による伴奏部の各パートに楽器の指定がなく、旋律の特徴を生かして楽器を選択したり響き合う音色を工夫したりすることができる。

(3) フィドル・ファドル（リロイ・アンダーソン作曲） * オーケストラ鑑賞会演奏曲

《学習指導要領 5・6 学年の内容との関連》B(1)ウ

現代アメリカの有名なアンダーソンが作曲した曲である。『フィドル』というのは、バイオリンの別名であり、特に民謡などを演奏する時にそう呼ばれることが多く、弓で弦をゴシゴシこすのが演奏の特徴である。ここでは、その奏法の面白さに気付かせ、バイオリンの音色の美しさを味わって聴くようにしたい。

(4) 愛の喜び（クライスラー作曲） * オーケストラ鑑賞会演奏曲

《学習指導要領 5・6 学年の内容との関連》B(1)ウ

ウィーン地方に伝わる古い民謡をベースにしたワルツ形式の曲である。バイオリンがうきうきと弾むような心の高揚を歌い上げている。そのためバイオリンの音色の美しさと共に、その軽快な演奏も楽しむことができるので、そのよさを味わって聴くようにしたい。

(5) 美しきロスマリン（クライスラー作曲） * オーケストラ鑑賞会演奏曲

《学習指導要領 5・6 学年の内容との関連》B(1)イ

ロスマリンとは、香りの高い花を咲かせる植物の名前で、別名ローズマリーのことである。テレビでも紹介されたことのある楽曲で、広く人々に親しまれている。ウィンナー・ワルツ調で、明るく弾むような愛らしいメロディに始まり、中程では叙情的な旋律が歌われ、最後は始めに戻って軽やかに終わる構成になっている。それぞれの曲想の変化を味わいながら聴くことができるようにしたい。

3. 題材の評価規準

	ア 音楽への 関心・意欲・態度	イ 音楽的な 感受や表現の工夫	ウ 表現の技能	エ 鑑賞の能力
題材 の 評 価 規 準	合唱やいろいろな楽器の音色に関心を持ち、美しい響きで表現しようとしている。	声や楽器の組み合わせ、重なり合う響きを感じ取って演奏しようとしている。	楽器の音色や美しい響きに気を付けながら、合唱や合奏をしている。	楽器の音色の違いや曲想の変化を感じ取って聴いている。
学 習 活 動 に お け る 具 体 的 評 価 規 準	①合唱や合奏の響きのよさを味わいながら、進んで聴き、よさや楽曲の特徴をつかもうとしている。 【Aと判断するキーワード】 □積極的な発表 □多様な関心と活動内容 範唱を聴いて、進んで演奏しようとしている。 【Aと判断するキーワード】 □積極的な発表 □意欲的な演奏活動	①声の重なりによる響き合いを生かした歌い方の工夫をしている。 【Aと判断するキーワード】 □歌い方やパートの音量のバランスの違いの感受 □歌詞の内容も生かした歌い方 曲想を生かしたりリズムパターンをつくったり奏法を工夫したりしている。 【Aと判断するキーワード】 □多様な創作活動 □曲想に合ったリズムパターンの創作 曲想を生かした楽器の組み合わせやその奏法を工夫している。 【Aと判断するキーワード】 □音楽的な根拠からの選択 □曲想にあわせた奏法の工夫	フレーズのまとまりをとらえて、楽器の音色に気を付けて演奏している。 【Aと判断するキーワード】 □快く響く音色に気を付けた演奏 □的確なフレージング □曲の感じや音色の特徴が表れた演奏 主旋律を生かせるよう、全体のバランスに気を付けて演奏をしている。 【Aと判断するキーワード】 □バランスのとれた演奏 □工夫が表れている演奏	楽器の音色の違いや特徴を聴き分ける。 【Aと判断するキーワード】 積極的な取組み 違いを聴き分けた上での音の響き合いへの気付き 曲想の変化を感じ取って聴いている。 【Aと判断するキーワード】 曲想の変化に合わせた身体表現 積極的な発表

4. 指導と評価の計画(5時間扱い)

: 取り扱い項目

取り扱い重点項目

時	主な学習内容	題材の 評価 規準	指導要領 との関連	内容のまとめり との関連				評価方法等
				歌 唱	器 楽	創 作	鑑 賞	
1	《星空はいつも》 範唱を聴いて、曲の感じをつかむ。	ア -	A(1)ア					発表 学習カード
	・CDを聴き、曲全体の感じや旋律の特徴などについて気付いたことを発表し合う。 響きのある歌声を工夫して合唱する。	ア -	A(1)ア					歌唱聴取
	・範唱に合わせて主旋律を歌う。 ・低音部の旋律を階名視唱したり、歌詞唱したりする。 ・好きなパートを選んで、二部合唱が響き合うよう工夫し合う。	イ -	A(2)イ					歌唱聴取
2	曲想に合った演奏を工夫する。	イ -	A(2)イ					行動観察 発表
	・リコーダーや鉄琴はどのように演奏したら曲想に合うのか話し合う。 ・より曲想に合った伴奏をつくり、楽器を選んで試す。	イ -	A(4)ア					行動観察
	工夫したことを生かして、演奏をまとめる。 ・歌唱と楽器の重なり合う音を互いに聴き合いながら練習する。 ・リコーダーや鉄琴の響きに気を付けながら、全員で合唱奏をする。	ウ -	A(3)イ					演奏聴取
3	《ラパース コンチェルト》 曲の感じをつかみ、主旋律を演奏する。	ア -	A(1)ア					発表
	・曲全体の感じをつかみ、旋律の特徴や音の重なりについて気付いたことを発表する。 ・タンギングや息つぎの仕方に気を付け、範奏を聴いて主旋律をリコーダーで演奏する。	ウ -	A(3)イ					演奏聴取 学習カード

	<p>リズム伴奏を工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・簡単なリズムをつくって、打楽器で試したり、主旋律に合わせて演奏したりする。 ・楽器を選択したり、奏法を工夫したりする。 ・工夫したリズム伴奏を聴き合う。 	イ -	A(4)ア					演奏聴取
		イ -	A(2)イ					行動観察
4	<p>リズムや奏法に気を付けながら、曲想に合う演奏の仕方を工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フレーズのまとめや楽器の音色に気を付けて、自分のパートを練習する。 ・美しい響きの合奏になるようにまとめ発表する。 	ウ -	A(3)イ					演奏聴取
		ウ -	A(3)イ					演奏聴取 学習カード
5	<p>オーケストラの生演奏を聴く。</p> <p>【フィドル・ファドル】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主旋律を演奏しているヴァイオリンの音色を味わって聴く。 <p>【愛の喜び】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使われている楽器の音色に気を付けて聴く。 <p>【美しきロスマリン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曲想の変化を感じ取りながら聴く。 	エ -	B(1)ウ					行動観察 学習カード
		エ -	B(1)ウ					
		エ -	B(1)イ					